サーバ情報に従いRaspberryPiのGPIO を制御する方法

2018/01/05 石山隼行

ドキュメント、【IoTサーバで簡易データ保持とスマートフォン連携】

https://docs.google.com/document/d/1wETYjULJmXvk-fqhIf6lHwRjI8DaLloarfzjtTV_1rg/edit?usp=sharing

を参考にし、

Webサーバ(仮に)http://iotmlab.ddns.net/~loT00/cgi/onoff.cgi



ON

の表示内容がONの時 (http://iotmlab.ddns.net/~loT00/cgi/onoff.cgi?ON でONが記憶される) に RaspberryPiからGPIOシーケンスを開始するサンプルプログラムを作成しました。

Requests の使い方 (Python Library)

https://qiita.com/sqrtxx/items/49beaa3795925e7de666 および

Raspberry PiでPythonのRPi.GPIOを使ってLチカする https://qiita.com/masato/items/715e28e0c0c945a54297 を参考にして下記のように作成した

HTMLスクレイピング部

Requests の使い方 (Python Library) https://qiita.com/sqrtxx/items/49beaa3795925e7de666 参考

まずRasPiにrequestsをインストール

\$ sudo pip install requests

以下python3でテスト \$python

>>> import requests

>>> r=requests.get('http://iotmlab.ddns.net/~loT00/cgi/onoff.cgi')

>>> r.text

'<!DOCTYPE html\n\tPUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"\n\t "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">\n<html
xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" lang="en-US"
xml:lang="en-US">\n<head>\n<title>部屋の電灯</title>\n<meta
http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8"
/>\n</head>\n<bd/>\n<h1>ON</h1>\n</bd/>/html>'

このHTML内容にONがあるかどうかを判定するにはfindで行います。

※WebスクレイピングにBeautifulSoup等を利用しても良いですが、処理が重くなるので単にテキストから情報を検索してみます。

```
>>> print(r.text.find('<h1>ON</h1>'))
312
```

↑321文字(バイト)目にONがある。なければ-1が帰ります。

この状態でGPIO制御するプログラムを書けばよいわけです。

GPIO制御

Raspberry PiでPythonのRPi.GPIOを使ってLチカする
https://qiita.com/masato/items/715e28e0c0c945a54297
を参考に、Lチカプログラムをdef L_Brink で関数にし、下記のようなプログラムを作成しました

\$ sudo apt-get install python-rpi.gpio

test.py

```
# -*- coding: utf-8 -*-

import requests
import RPi.GPIO as GPIO
import time

def L_Brink(count,pin):
    #COUNT = 3
    #PIN = 11
    GPIO.setmode(GPIO.BOARD)
    GPIO.setup(pin,GPIO.OUT)

for _ in xrange(count):
    GPIO.output(pin,True)
```

```
time.sleep(1.0)
GPIO.output(pin,False)
time.sleep(1.0)

GPIO.cleanup()

#main loop
while 1: #永久ループ。終了はCtrl+Cで
r = requests.get('http://iotmlab.ddns.net/~loT00/cgi/onoff.cgi')
if(0<r.text.find('<h1>ON</h1>')):
    print('OK Go')
    L_Brink(3,11) # 3回 11番PINをTrue->False変化=Lチカさせる
    print('Ture End')
    break #一度でも実行したら終了
```

サーバの表示がONならば、L_Brink(3,11)を実行。そうでなければ(サーバ内がOFFならば)ループし続けるプログラムです。

実行結果

まず、

 \leftarrow \rightarrow ${\tt C}$ \bigcirc iotmlab.ddns.net/~loT00/cgi/onoff.cgi

OFF

OFF状態でスクリプトを実行すると、

```
|pi@raspberrypi:~ $
|pi@ra
```

NG - Loop Againと表示されつづけます。

ここで<u>http://iotmlab.ddns.net/~loT00/cgi/onoff.cgi?ON</u> でON状態にすると

ON



OK Go と表示され、GPIOシーケンスがスタートし、True End となりループから終了します。

※ループさせ続けたい場合はbreakをコメントアウトしてください。

このプログラムのL_Brinkを作り替え、各自のGPIO制御シーケンスを入れてみてください。

一以上一